

## 金木犀が二度咲いた

染谷 秀雄

九月十一日の朝、目を覚ましてみると閉めきった雨戸を通して仄かな甘い香りがしている。金木犀のような香りだがまだその時季にはなっていない。例年なら十月初旬だからだ。でも外へ出て近くに寄ってみると仄かであるが確かに金木犀である。なんでこんなに早いのかと思って暫く見ていたが、いつもの咲き様とは違い、色が薄く香りも少ない。ややがっかりしたが、その日に杉並の実家に行った際、昼食を摂りに出かけた先でも大きな金木犀が薄い色で咲き出しており、やはり自分の家だけでなく咲いていることを確認した。その後、我が家で観察してみるとオレンジ色を輝かせて咲く形跡はなくいつの間にか終わってしまった。今年は咲き方がよくないと思っていたが、十月初旬になると、近所から我が家からもいつもの金木犀の香りがしてきた。そんなことがあるのかと目を疑ったが今度はまさしく例年のような花付きで香りも強かった。やはり間違はなく二度咲いたのだ。それは我が家だけでなく周りの人からも同じようなことを聞いた。信じられない現象であった。

インターネットを繰ってすこし調べてみると、やはり地球温暖化との関係が指摘されているようでこの温暖化がすすめば二度咲きの現象がもっと増加するようである。だが二度咲きのメカニズムはまだ解消されていないようである。そう言えばけん二先生の葬儀の時にも一度目の金木犀が咲いていた。そのうち金木犀の返り花なんていうことも起こるかもしれない。